

田中矯正歯科

診療科目/矯正歯科



鹿児島中央駅近くにあり通いやすい。清潔感のある診療スペースや気さくなスタッフも好印象

Q 裏側装置は口内炎がでやすいですか？

A 当院での裏側装置は、コンピューター3Dデジタル技術による

も裏側のほうが唾液に触れるため、自浄作用が働きやすいからです。しかし虫歯のリスクは矯正装置をつけていない状態より高く、毎日の口腔ケアが重要になります。

Q 「見えない」装置での治療を検討中。マウスピース矯正と裏側矯正のどちらが適している？

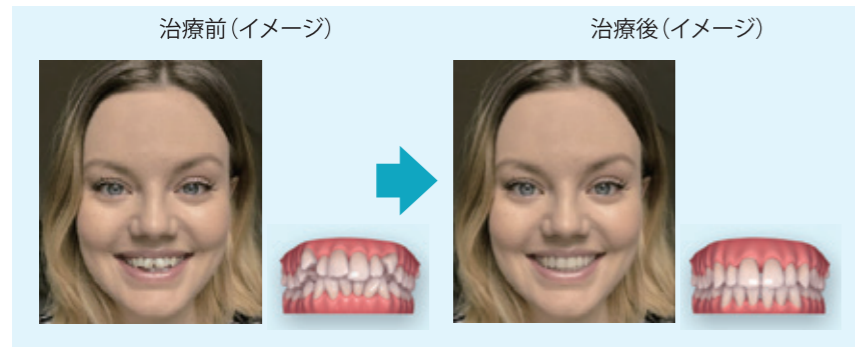
A 裏側（リンガル）矯正治療は、ほぼ全ての不正咬合（ふせいこうごう）に対応しています。マウスピース矯正治療も様々な症例に対応できますが、上下の歯並びのズレが大きすぎる場合など不得意な症例もあります。また、それぞれメリット・デメリットが異なるため、歯並びや咬み合わせの状態、患者さんの希望、ライフスタイルを考慮して判断する必要があります。当院ではどちらの装置にも対応しており、費用もさほど変わりません。まずはお気軽にご相談ください。

Q 裏側矯正ができない症例はあるの？

A 当院の3Dデジタル裏側矯正治療は、基本的に全ての症例に対応可能です。「見た目が気になって治療に踏み切れない」「痛みが不安」な方はぜひ一度無料のカウンセリングを。当院では初診・相談料がかりませんので、お気軽にご相談ください。

Q 裏側矯正ができない症例はあるの？

A フルオーダーメイドのため、薄型で表面もなめらか。そのため、従来の装置より口内にかかる刺激が軽減され、口内炎ができることは少なくなりました。



治療後のスマイルと歯並びのイメージを画像で事前確認できる(予測シミュレーション導入)



フルオーダーメイドの裏側（リンガル）矯正治療のメリット

- 一人ひとりの歯に合わせて装置を作製するため、違和感が軽減される
- 矯正装置が薄いため舌が触れる痛みはほとんどなく、発音や食事への影響が少ない
- 装置自体が本人に合わせて精密に作られ、歯の移動が正確かつスムーズに。効率の良い治療ができる
- 歯に対するブラケットの接着面積が広いため、装置が壊れにくい

フルオーダーメイドの裏側（リンガル）矯正治療のデメリット

- ドイツで作られるため、装置が届くまでに1ヶ月半ほどかかる

このページのテーマ 裏側(舌側・リンガル)矯正治療について



Q 3Dデジタル技術による裏側（リンガル）矯正治療とは？

A 昔は表側に装置を固定するのが一般的でしたが、近年は裏側に装着する方法も定着し、ほとんど目立たなくなりまし。従来の裏側装置をさらに進化させたのが「見えない」3Dデジタル裏側矯正装置です。当院の矯正装置は従来の既製品ではなく、完全フルオーダーメイド。3Dデジタル技術で採取した、極めて正確な歯型



従来の裏側矯正と比べて、3Dデジタル裏側矯正は滑らかで低刺激。精密な製法により様々な問題点が改善されている

Q その矯正装置のメリットは？

A 正確な歯型のスキャンデータを用いて精巧に作られるため、一人ひとりにぴったりフィットします。スキャンデータを元に作られています。データはドイツに送られ、精密機械加工技術を使用して設計・作製。1本1本の歯の形や状態に合わせてロボットが作業し、完成後に装置（ブラケット）とワイヤーが届きます。到着後、専用の接着剤で歯に固定し、定期的に調整しながら理想の歯並びを目指します。

Q 裏側装置の違和感とは？

A 装着後、2〜3日は違和感と話しづらさはありますが、徐々に慣れていきます。個人差はあるものの、数日から1週間程度で慣れる方が多いようです。当院の裏側矯正装置は、患者さん一人ひとりに合わせて、快適性を考え抜き設計されたオーダーメイド。以前までの厚みのあるタイプのものとは比べると非常に薄く、違和感や話しにくさを最小限に抑えることができます。

Q 治療期間は？

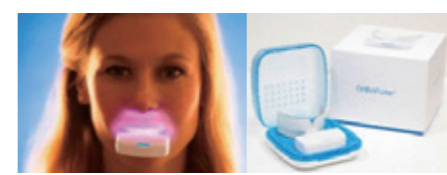
A 症状や難易度によって異なりますが、多くは1年半〜2年前後で終了します。表側矯正より期間が長い

Q 裏側矯正は虫歯になりやすい？

A 「裏側の装置は見えづらい分、汚れや食べ物が残りやすく虫歯になるリスクが高いのでは」と思われがち。実は表側の装置よりも、裏側のほうが虫歯になりにくいという報告があります。なぜなら表側より

Q 裏側矯正は虫歯になりやすい？

A メージがあるかもしれませんが、当院の3Dフルオーダーメイドの裏側矯正治療はほとんど期間の差がありません。3Dデジタル技術によって装置（ブラケット）が最適な位置になり、オーダーメイドの精密なワイヤーを使用することで正確かつ、以前より短い期間で治療できるからです。また、治療期間の短縮を期待できる光加速装置（オルソパルス）の使用も取り扱っております（費用別）。



オルソパルスは歯の移動を加速させ、治療期間を短縮してくれるほか、治療に伴う痛みを和らげてくれる可能性があるといわれている。

ワイヤータイプとの歯列矯正で気になるのが、その見た目と装着時の違和感。装置が目立ったり、痛みを伴ったりするデメリットを解消したのが、3Dデジタル技術によるフルオーダーメイドの『裏側（リンガル）矯正治療』。そのメリットや治療期間などを、第一線で活躍する田中矯正歯科の窪田総院長に教えてもらいました。